

餅による窒息事故に注意しましょう！

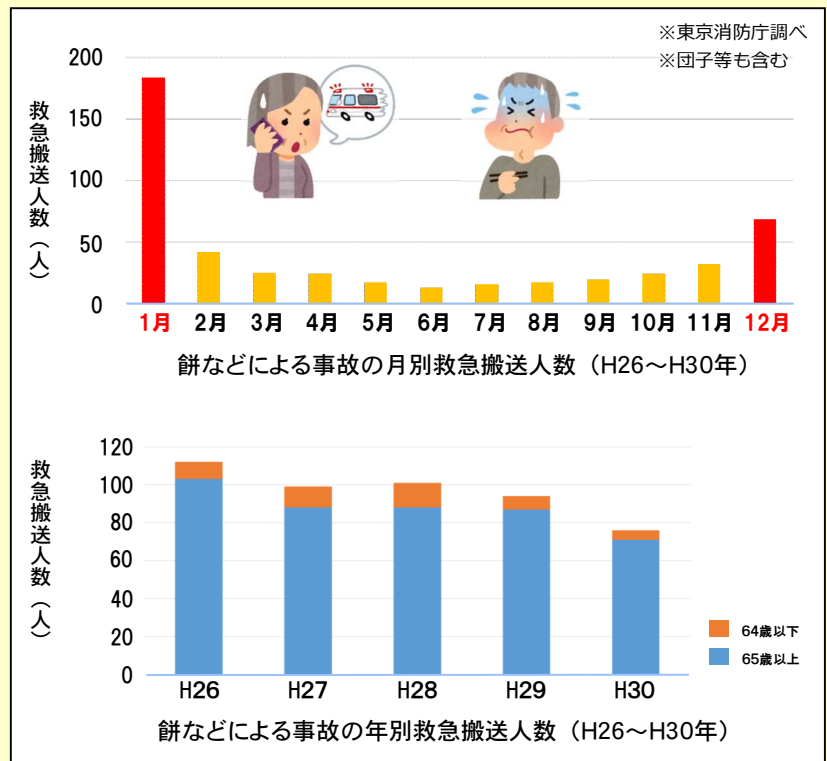
お正月のお雑煮などで、餅を食べる方も多いと思います。その一方で、餅による窒息事故は毎年この時期に集中しており、特に高齢の方の救急搬送が目立っています。

今回は餅による窒息事故について特集します。事故を防ぎ楽しい年末年始を過ごしましょう！

年末年始は 餅による窒息事故が多数発生しています

特に高齢者は注意！

- 餅を食べる機会が多くなる年末年始には、毎年、高齢者の窒息事故が多数発生しています。
- 高齢になると、かむ力や飲み込む力が低下し、食べたものをしっかりかんで飲み込むことが難しくなるため、窒息事故が起こりやすくなります。
- 東京消防庁の調査によると平成26年から平成30年までの5年間で、餅を喉に詰まらせて救急搬送された方が482人おり、その約9割が65歳以上でした。

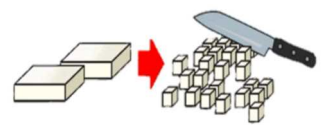


!

餅による窒息事故を防ぐために

以下のポイントに注意して事故を未然に防ぎましょう！

- 餅を食べる前に、小さく切りましょう
- 餅を食べる前に、お茶などを飲んで喉を潤しましょう
- 餅はよくかんで、唾液とよく混ぜてから飲み込みましょう
- 周りの人も高齢者がよくかんで食べているかを見守りましょう



出典：消費者庁

- 餅を食べて苦しんだり、顔色が悪くなったときは、窒息が疑われます
- 窒息のおそれがある時は救急 (119) にすぐ通報してください！

子どもの食品による窒息事故にも注意しましょう！

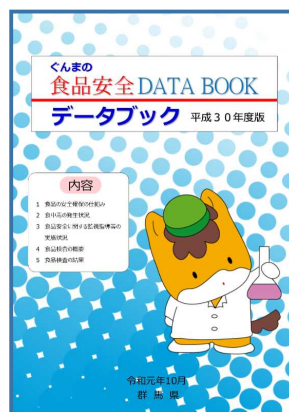
- ・歯が生えそろっておらず、かむ力も弱い「小さい子ども」の食品による窒息事故にも注意が必要です。
- ・飲み込む力が十分でないだけでなく、気道も狭いため、豆やナッツ類を食べると、気道に入って気管支炎や肺炎を起こしたり、窒息したりするおそれがあります。



豆やナッツ類は、3歳頃までは食べさせないようにしましょう

県の食品安全検査の結果をわかりやすく説明しています

- ・群馬県では、食品の安全検査を実施しています。このたび、図や表を使用して検査結果をわかりやすく説明した「ぐんまの食品安全データブック（平成30年度版）」を作成しました。
- ・残留農薬、食品添加物、放射性物質をはじめ様々な項目が掲載されています。また、食中毒の発生状況や安全確保の仕組みについても説明しています。県のホームページからダウンロードして御覧ください。



食品安全データブック 検索

食の安全情報通信員 募集中

- ・県ではこの「ぐんま食の安全情報」を身近な方々に配布していただく「食の安全情報通信員」を募集しています。食べ物、食の安全に関心がある方はぜひご応募ください。
- ・また、お知り合いの方で、食の安全情報に興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ「食の安全情報通信員」の登録をご案内いただきますようお願い申し上げます。

※食の安全情報通信員とは、月1回程度発行する「ぐんま食の安全情報」をご近所や知人、職場などの5人以上の方に配布していただくボランティアです。
報酬はありませんが、県作成の食品安全に関する冊子やパンフレット等を、随時、お送りいたします。

連絡先 TEL：027-226-2424

食の安全情報通信員 検索

詳しい情報はこちら

- 消費者庁HP 「[御注意ください、高齢者の窒息事故！](#)」
「[豆やナッツ類は、3歳頃までは食べさせないようにしましょう！](#)」
- 東京消防庁HP 「[年末年始の救急事故をなくそう](#)」



ご意見・ご感想
お問い合わせは
こちらへ

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
群馬県健康福祉部 食品・生活衛生課 食品安全推進室
TEL：027-226-2424 FAX：027-243-3426
電子メール：shokuseika@pref.gunma.lg.jp
★群馬県HPでバックナンバーをダウンロードできます。
(<http://www.pref.gunma.jp/05/d6200163.html>)



【フェイスブックのQRコード】

★公式フェイスブックで情報発信中！ (<https://www.facebook.com/gunmashokusanzen/>)